

I-1-(1) ア 在宅当番医制運営事業

【保健・医療専門部会】

事業内容	平日夜間と休日における内科・外科系の救急診療当番制事業を実施するとともに、初期救急医療体制の維持確保及び地域住民への救急医療の啓発普及を図る。	
効果	平日夜間と休日における初期救急医療の体制確保と地域住民への救急医療啓発によって、地域住民の生命に対する安全性と安心感の向上が図られる。	
役割分担	滝砂	関係市町からの負担金の取りまとめを行うとともに医師会等への委託料の支払い事務を行う。
	関係市町	各自自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	普通交付税密度補正 I の一部適用 (H26 のみ)	

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
救急医療啓発普及事業	芦別市	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	9,750
救急医療啓発普及事業	赤平市	2,879	2,879	2,879	2,879	2,879	14,395
救急医療啓発普及事業	滝川市	2,876	2,728	2,729	2,729	2,729	13,791
在宅当番医制運営事業		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	17,500
休日夜間急病センター運営事業		24,709	0	0	0	0	24,709
H27 休日夜間初期救急維持確保事業			32,403	32,011	32,011	32,011	128,436
在宅当番医制運営事業	砂川市	2,167	2,158	2,181	2,181	2,181	10,868
救急医療啓発普及事業	歌志内市	250	273	251	251	251	1,276
救急医療啓発普及事業	奈井江町	351	335	334	334	334	1,688
救急医療啓発普及事業	上砂川町	208	210	209	209	209	1,045
救急医療啓発普及事業	浦臼町	188	189	189	189	189	944
救急医療啓発普及事業負担金	新十津川町	664	638	641	641	641	3,225
救急医療啓発普及事業負担金	雨竜町		174	174	174	174	696
	他						
	合計	39,742	47,437	47,048	47,048	47,048	228,323

H27年度の主な取組実績	芦別市、赤平市は、各市立病院にて実施した。 滝川市、新十津川町（除く花月地区）、雨竜町（H27.4～）は、滝川医師会にて実施した。 砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町（花月地区）は、空知医師会にて実施するとともに救急医療の啓発事業として、救急医療講演会を開催した。 奈井江町は、町内開業医（3診療所）と町立病院とにより休日当番制で対応した。
H28年度の主な取組	H27年度と同様の取組みを予定している。
H29年度以降の取組予定	H28年度と同様の取組みを予定している。
事業における課題等	特になし。

I-1-(1) イ 病院群輪番制運営事業

【保健・医療専門部会】

事業内容		中空知圏域における第二次救急医療を実施する公的医療機関等の長期的かつ安定的な医療体制を確保する。 ※現状の当番病院は、砂川市立病院、滝川市立病院、滝川脳神経外科病院、あかびら市立病院、市立芦別病院
効果		中空知圏域の第二次救急医療体制の確保が図られる。
役割分担	滝砂	砂川市の役割 関係市町からの負担金の取りまとめ、医療機関への交付金の支払い事務
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
病院群輪番制運営事業	芦別市	3,040	3,040	3,038	3,038	3,038	15,194
病院群輪番制運営事業	赤平市	2,979	2,991	2,979	2,979	2,979	14,907
病院群輪番制運営事業	滝川市	4,082	4,107	4,099	4,099	4,099	20,486
病院群輪番制運営事業	砂川市	5,059	5,082	5,064	5,064	5,064	25,333
病院群輪番制運営事業	歌志内市	225	224	222	222	222	1,115
病院群輪番制運営事業	奈井江町	253	253	252	252	252	1,262
病院群輪番制運営事業	上砂川町	219	219	217	217	217	1,089
病院群輪番制運営事業	浦臼町	196	197	197	197	197	984
広域救急病院群輪番制運営事業負担金	新十津川町	267	269	269	269	269	1,343
病院群輪番制運営事業	雨竜町	206	206	205	205	205	1,027
	他						
	合計	16,526	16,588	16,542	16,542	16,542	82,740

H27年度の主な取組実績	砂川市が事務局となり、関係市町から負担金を徴収し、参加病院である砂川市立病院、滝川市立病院、あかびら市立病院、市立芦別病院及び滝川脳神経外科病院に対し、参加割合に応じ事業費を交付した。
H28年度の主な取組	H27年度と同様の取組みを予定している。
H29年度以降の取組予定	H28年度と同様の取組みを予定している。
事業における課題等	利用実態に即した負担割合への見直しが必要。※砂川市記載

I-1-(1) ウ 小児救急医療体制支援事業

【保健・医療専門部会】

事業内容		小児重症患者の休日及び夜間における受入れ医療機関を決定し、中空知圏域の第二次救急医療体制を確保する。 ※現状の当番病院は、砂川市立病院、滝川市立病院、あかびら市立病院
効果		中空知圏域の小児の第二次救急医療体制の確保が図られる。
役割分担	滝砂	砂川市が 関係市町からの負担金の取りまとめ、各医療機関への交付金の支払い事務、北海道補助金申請事務を行う。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		※2/3 が道費補助金、1/3 が各市町負担金 小児救急医療対策事業費補助金

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
小児救急医療支援事業	芦別市	70	70	69	69	69	347
小児救急医療支援事業	赤平市	335	336	335	335	335	1,676
小児救急医療支援事業	滝川市	1,150	1,156	1,153	1,153	1,153	5,765
小児救急医療支援事業	砂川市	1,089	1,095	1,091	1,091	1,091	5,457
小児救急医療支援事業	歌志内市	40	39	39	39	39	196
小児救急医療支援事業	奈井江町	44	44	44	44	44	220
小児救急医療支援事業	上砂川町	38	39	38	38	38	191
小児救急医療支援運営事業	浦臼町	35	35	35	35	35	175
小児救急医療支援事業負担金	新十津川町	47	47	47	47	47	235
小児救急医療支援事業	雨竜町	36	36	36	36	36	180
	他						
	合計	2,884	2,897	2,887	2,887	2,887	14,442

H27年度の主な取組実績	砂川市が事務局となり、関係市町から負担金を徴収し、参加病院である砂川市立病院、滝川市立病院及びあかびら市立病院に対し、参加割合に応じ事業費を交付するとともに北海道に対し補助金申請事務を行った。
H28年度の主な取組	H27年度と同様の取組みを予定している。
H29年度以降の取組予定	H28年度と同様の取組みを予定している。
事業における課題等	利用実態に即した負担割合への見直しが必要。※砂川市記載

I-1-(2) ア 医療体制の充実

【保健・医療専門部会】

事業内容	圏域の医療資源を有効に活用し、圏域住民が安心して暮らせるよう、医療体制の充実を図るとともに、ICTを活用するなど共有する診療情報を有効に活用し、質の高い医療を提供する。	
効果	圏域医療における役割分担のもとに、地域における医療体制の充実を図るとともに、医療情報の共有を促進することにより、連携する医療機関で相互に参照することが可能となり医療情報連携の緊密化が図られる。	
役割分担	滝砂	病院間における医療連携や相互支援を図るとともに必要な協力を行い、医療情報の共有化とネットワークの充実を図る。
	関係市町	病院間における医療連携について、必要な協力や支援を図る。 各病院間で応分の経費を負担する。
補助制度等	医師の派遣を受ける経費（旅費等）の1/2が特別交付税措置	

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
医師等派遣・支援事業	芦別市	6,600	6,390	6,955	6,955	6,955	33,855
地域医療ネットワーク基盤整備事業		0	21,200	302	302	302	22,106
医師等派遣・支援事業	赤平市	5,342	8,700	9,780	9,780	9,780	43,382
地域医療ネットワーク基盤整備事業		0	31,920	657	657	657	33,891
医師等派遣・支援事業	滝川市	20,826	22,395	21,697	21,697	21,697	108,312
地域医療ネットワーク基盤整備事業		0	30,240	796	1,061	1,061	33,158
医師等派遣・支援事業	砂川市	50,459	58,527	60,663	60,663	60,663	290,975
地域医療ネットワーク基盤整備事業		21,200	16,576	2,295	2,295	2,295	44,661
地域医療ネットワーク基盤整備事業	歌志内市	0	0	0	0	0	0
小児科診療委託	奈井江町	1,968	2,703	2,850	2,850	2,850	13,221
地域医療ネットワーク基盤整備事業		0	21,200	226	302	302	22,030
	上砂川町						
	浦臼町						
	新十津川町						
	雨竜町						
	他						
	合計	106,395	219,851	106,221	106,562	106,562	645,611

H27年度の主な取組実績	<p>砂川市立病院派遣実績 派遣先：滝川市立病院 産婦人科 144回、市立芦別病院 耳鼻咽喉科 44回 あかびら市立病院 泌尿器科 48回、整形外科 70回 奈井江町立国保病院 小児科 51回、(市立美唄病院 産婦人科 99回)</p> <p>滝川市立病院派遣実績 派遣先：あかびら市立病院 麻酔科 36回、市立芦別病院 整形外科 50回</p>
H28年度の主な取組	平成28年度も同様に派遣予定。 芦別市、赤平市、歌志内市、砂川市、滝川市、奈井江町が、地域医療ネットワーク基盤整備システム稼働(H28.7~)。
H29年度以降の取組予定	地域医療連携ネットワークシステムの運用(H28.7~)。※砂川市記載 H29年度以降も同様に派遣予定。
事業における課題等	各自治体における地域医療情報ネットワークシステムの構築並びに管内民間病院・診療所へ拡大すべきかの検討。※砂川市、奈井江町記載 派遣元病院の医師確保。※砂川市記載

I-2-(1) ア 障がい児通所支援事業

【福祉・子育て専門部会】

事業内容		<p>心身の発達や成長の遅れに心配のある子どもに対して、発達状況に応じて保護者や関係機関と連携を図りながら、日常生活における基本的な動作や集団生活への適応に関する指導などを行い、家庭や地域で健やかに育っていくための支援を行う。</p> <p>現状 滝川市、雨竜町：<u>こども発達支援センター～児童発達支援、放課後等デイサービス、障害児相談支援、市町村発達支援センター事業、理学療法士と言語聴覚士を配置</u></p> <p>砂川市、1市4町：子ども通園センター～児童発達支援、放課後等デイサービス（歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町）</p> <p>芦別市：児童デイサービスセンター</p> <p>赤平市：<u>子育て支援センター</u></p>
効果		<p>子どもの心身の育成を助長することを目的としたセンターの安定した事業運営の確保が図られる。</p>
役割分担	滝砂	<p>子ども通園センター等を設置、運営管理する。</p>
	関係市町	<p>各自治体が必要な経費を負担する。</p>
補助制度等		<p>地域づくり総合交付金（発達支援センター事業補助金）：北海道補助金</p> <p>子ども発達支援事業専門支援事業費補助金：北海道補助金</p>

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
児童デイサービスセンター管理運営業務に要する経費・市町村負担金	芦別市		756	755	755	755	3,021
	赤平市			0	0	0	0
こども発達支援センター事業	滝川市	46,434	48,681	41,730	41,730	41,730	220,305
子ども通園センター運営管理事業	砂川市	15,373	17,828	19,421	19,421	19,421	91,464
子ども通園センター事業負担金	歌志内市	29	115	350	350	350	1,194
子ども通園センター事業負担金	奈井江町	60	216	653	216	216	1,361
子ども通園センター事業負担金	上砂川町	47	187	527	527	527	1,815
子ども通園センター事業負担金	浦臼町	33	122	451	451	451	1,508
子ども通園センター事業負担金	新十津川町	126	216	1,131	1,131	1,131	3,735
こども発達支援センター事業	雨竜町	2,058	1,890	1,948	1,948	1,948	9,792
	他						
	合計	64,160	70,011	66,966	66,529	66,529	334,195

H27年度の主な取組実績	<p>○こども発達支援センター 契約数 141人（延べ利用人数 2,078人） 滝川市:契約129人(1,961人)、雨竜町:契約12人(117人)</p> <p>○子ども通園センター 契約数 68人（延べ利用人数 1,754人） 砂川市:契約30人(793人)、新十津川町:契約19人(456人)、歌志内市:契約2人(35人)、奈井江町:契約8人(192人)、上砂川町:契約4人(117人)、浦臼町:契約5人(161人)</p> <p>○児童ディサービスセンター 契約数 27人（延べ利用人数 637人） 芦別市:契約27人(637人)</p> <p>○子育て支援センター 個別支援人数 延べ184人 赤平市</p>
H28年度の主な取組	<p>現状の事業運営を継続する。なお、将来的には、療育指導等の充実を図るため、指導員配置等の運営体制について検討する必要がある。</p>

H29年度以降の 取組予定	現状の事業運営を継続する。なお、将来的には、療育指導等の充実を図るため、指導員配置等の運営体制について検討する必要がある。
事業における 課題等	特になし。

I-2-(1) イ 地域活動支援センター事業及び相談支援事業

【福祉・子育て専門部会】

事業内容		障がい者（児）の自立と社会参加を促進させるため、地域活動支援センターの広域利用を推進する。 現状：砂川市は4市4町と共に委託。 地域活動支援センターぽぽろ（社会福祉法人くるみ会） （赤平市、滝川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町） ：芦別市は非営利特定法人が実施する「地域活動支援センター事業」に補助金を交付。 ：新十津川町は地域活動支援センターあざれあ工房（町社会福祉協議会）にも補助金を交付。 ：雨竜町は運営費負担金を地域活動支援センターあざれあ工房に直接交付。
効果		広域利用により、安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	滝砂	各市町と連携し、地域活動支援センター事業及び相談支援事業の広域利用を推進するとともに、委託事業者と契約を締結し、必要な経費を負担する。
	関係市町	各市町は委託事業者と契約を締結し、必要な経費を負担する。
補助制度等		地域活動支援センター事業の基本分は普通交付税の単位費用 地域活動支援センター機能強化事業補助金（国庫補助金及び北海道補助金）

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
地域活動支援センター事業	芦別市	2,710	2,710	2,710	2,710	2,710	13,550
地域活動支援センター事業及び相談支援事業	赤平市	595	742	1,033	1,033	1,033	4,436
地域活動支援センター事業（委託料）	滝川市	3,649	3,880	3,329	3,329	3,329	17,516
地域活動支援センター事業・相談支援事業（委託料）	砂川市	8,401	8,188	7,816	7,816	7,816	40,037
地域活動支援センター等運営事業（支援センター）	歌志内市	320	368	454	454	454	2,050
地域活動支援センター事業・相談支援事業	奈井江町	1,703	1,740	1,575	1,575	1,575	8,168
地域活動支援センター事業、相談支援事業委託	上砂川町	2,362	2,362	2,314	2,314	2,314	11,666
地域活動支援センター事業委託料・相談支援事業委託料	浦臼町	835	821	740	740	740	3,876
地域活動支援センター負担金		630		1,574	1,574	1,574	5,352
地域活動支援センター負担金	新十津川町	7,271	7,271	6,780	6,780	6,780	34,882
地域活動支援センター負担金	雨竜町	100	100	100	100	100	500
	他						
	合計	28,576	28,182	28,425	28,425	28,425	142,033

H27年度の主な取組実績	○地域活動支援センターぽぽろ ・地域活動支援センター事業（年間228日開所）～延べ通所利用数4,156人（実人数96人） ・相談支援事業～相談1,217件（実人員133人）、対象障がい種別（精神71%、発達13%、知的8%等）、相談内容（不安解消・情緒安定27%、福祉サービス利用21%、家族・人間関係11%、障がい・病状理解9%等） ○地域活動支援センター（芦別市）～延べ通所利用数24人（実人数1人） ○地域活動支援センターあざれあ工房（雨竜町）～利用数雨竜町0人、新十津川町9人
H28年度の主な取組	引き続き、事業委託を継続し、関係市町と連携を図りながら広域利用を推進していく。なお、他市町それぞれに実施事業者ができた場合、身近な通所・相談先が望ましいこともあり、現状の広域体制、各市町体制の必要性及び予算措置について検討を要する。
H29年度以降の	引き続き、事業委託を継続し、関係市町と連携を図りながら広域利用を推進していく。

取組予定	なお、他市町それぞれに実施事業者がでた場合、身近な通所・相談先が望ましいこともあり、現状の広域体制、各市町体制の必要性及び予算措置について検討を要する。
事業における課題等	特になし。

I-2-(2) ア 保育所広域入所事業

【福祉・子育て専門部会】

事業内容	日常生活圏の拡大や住民ニーズの多様化に対応した保育所の広域入所など圏域の子育て支援の取組みを推進する。	
効果	児童に対し、認可保育所での適切な保育を提供し、子育てに対する不安の解消や育児と仕事の両立が図られる。	
役割分担	滝砂	協定に基づく保育所での児童受入れ及び委託先への保育単価の支出。
	関係市町	協定に基づく保育所での児童受入れ及び委託先への保育単価の支出。
補助制度等	普通交付税の単位費用	

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
保育所広域入所(業務委託料)	芦別市	1,259	640	0	0	0	1,899
赤平市広域入所実施事業	赤平市	970	970	3,083	3,083	3,083	11,189
広域入所負担金事業	滝川市	2,354	5,628	2,455	2,455	2,455	15,347
保育所広域入所委託料	砂川市	1,418	1,429	1,448	1,448	1,448	7,191
保育所一般経費(広域入所保育委託)	歌志内市	1,934	1,934	1,934	1,934	1,934	9,670
保育所広域入所	奈井江町	485	570	860	860	860	3,635
保育所広域入所	上砂川町						
保育所広域入所委託料	浦臼町	8,362	8,814	4,452	4,452	4,452	30,532
保育所広域入所負担金	新十津川町	522	522	1,150	1,150	1,150	4,494
保育所広域入所	雨竜町	695	695	695	695	695	3,475
	他						
	合計	17,999	21,202	16,077	16,077	16,077	87,432

H27年度の主な取組実績	・児童受入れ数…芦別市0人、赤平市2人、滝川市7人、砂川市2人、歌志内市0人、奈井江町0人、上砂川町0人、浦臼町10人、新十津川町1人、雨竜町0人
H28年度の主な取組	適宜、他市町における保育受入れを要する児童のため、適正な事務執行を行う。平成30年度に浦臼町で認定子ども園開設予定。
H29年度以降の取組予定	適宜、他市町における保育受入れを要する児童のため、適正な事務執行を行う。平成30年4月に歌志内市、浦臼町で認定子ども園開設予定。
事業における課題等	特になし。

I-3-(1) ア 言語治療教室通級事業

【教育専門部会】

事業内容		発達障がいやことばに障がいのある児童・生徒が通常学級に在籍し、個別指導を受ける。 言語通級教室や適応指導教室は、連携することできめ細かい教育が可能となる。 (現状) 砂川市：1市4町と提携、ことば、発達障害、週に2時間、教員3名 砂川中央小学校 滝川市：単独、ことば、発達障害、教員5名、滝川第二小学校、滝川第三小学校、西小学校、明苑中学校 芦別市：単独、小学校2校にことばの教室を開設、指導員1名を配置(他業務と兼任) 赤平市：単独、小学校に通級教室を開設(1校) 雨竜町：今は滝川市のこども発達支援センターを利用
効果		継続的な指導によりことばの障害が改善されている。
役割分担	滝砂	砂川市立中央小学校に教室を設置している。
	関係市町	各市町の児童を通級させ、必要経費を負担する。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
単) ことばの教室運営	芦別市	1,138	1,109	1,274	1,274	1,274	6,069
単) 通級指導教室事業	赤平市		2,344	255	255	255	3,109
単) 小学校・中学校運営事業 4校設置	滝川市	118	118	138	138	138	650
広域 言語治療教室通級	砂川市	289	328	343	343	343	1,646
" 言語治療教室通級、通学費補助	歌志内市	77	99	138・173	138・173	138・173	590・519
" 言語治療教室通級、通学費補助	奈井江町	78	98	86・205	86・205	86・205	434・615
" 言語治療教室通級、通学費補助	上砂川町	62・72	62・72	62・72	62・72	62・72	310・360
" 言語治療教室通級、通学費補助	浦臼町	125・216	125・216	69・168	69・168	69・168	457・936
" 言語治療教室通級	新十津川町	68	66	69	69	69	341
	雨竜町						
	他						
	合計	2,243	4,637	3,052	3,052	3,052	15,695

H27年度の主な取組実績	全市町：発達障がいやことばに障がいのある児童・生徒が通常学級に在籍し、個別指導を受ける教室の運営
H28年度の主な取組	赤平市：市費による指導員雇用に代わり道教員の通級指導加配を受け、小学校で継続して実施している。 他市町は、継続して実施。
H29年度以降の取組予定	継続して実施。
事業における課題等	特になし。

I-3-(1) イ 学校適応指導事業

【教育専門部会】

事業内容		不登校児童生徒の学校復帰のための支援・指導を行うとともに、当該児童生徒の保護者との相談体制の充実を図る。 現状： 奈井江町、浦臼町、美唄は共同運営 ： 新十津川町、滝川市はH25 協定 （滝川市において、H25 より広域的な受け入れの連携推進） ： 赤平市、滝川市はH26 協定 ： 芦別市（単独） ： 上記以外の市町は事業なし
効果		適応指導を通して、児童生徒に自信が付き、生活リズムを取り戻し、学校復帰を図り、安定した学校生活を送ることが可能となる。
役割分担	滝 砂	滝川市教育支援センターに設置する適応指導教室の有効活用を推進する。
	関係市町	単独設置若しくは共同運営に加入している市町以外は、適応指導教室の利用を図り、不登校児童生徒の支援、指導を行う。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
単) 適応指導教室運営	芦別市	2,925	2,529	1,670	1,670	1,670	10,464
	赤平市						
共同) 適応指導教室運営事業	滝川市	8,854	8,911	7,412	7,412	7,412	40,001
	砂川市						
	歌志内市						
共同) 美唄地区適応指導教室負担金	奈井江町	424	425	451	451	451	2,202
	上砂川町						
共同) 美唄地区適応指導教室負担金	浦臼町	330	330	356	356	356	1,728
共同) 適応指導教室負担金	新十津川町	1,404	804	804	804	804	4,620
	雨竜町						
	他						
	合計	13,937	12,999	10,693	10,693	10,693	59,015

H27年度の主な取組実績	全市町：不登校児童生徒の学校復帰のための支援・指導を行うとともに、当該児童生徒の保護者との相談体制の充実を図る。
H28年度の主な取組	継続して実施。
H29年度以降の取組予定	継続して実施。
事業における課題等	特になし。

I-3-(2) ア 国際教育の推進

【幹事会(企画担当課長会議)】

事業内容	圏域内の小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置することにより、日本人の外国語教師の授業補助をはじめ、児童生徒に対する語学指導や異文化理解への情報提供を行うとともに、地域の国際交流に関する活動へ参加する。 また、国際交流員（CIR）の配置により、国際活動に関連する事業の補助や国際交流に参加する地域活動への参加、地域住民の語学習得の支援を行う。	
効果	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解が深められ、国際感覚豊かな青少年の育成が図られるほか、地域における国際化が推進される。	
役割分担	滝砂	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の有効活用を推進する。
	関係市町	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の有効活用を推進する。
補助制度等	普通交付税の単位費用（地域振興費密度補正Ⅲ：4,720千円/人）	

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
英語指導助手に要する経費	芦別市	4,832	4,851	4,806	4,806	4,806	24,101
国際交流員に要する経費	芦別市	3,801	3,782	3,794	3,794	3,794	18,965
外国青年招致事業	赤平市	4,417	4,583	4,583	4,583	4,583	22,749
外国青年招致事業（CIR）	滝川市	14,503	14,008	11,001	14,008	14,008	67,528
外国青年招致事業（ALT）	滝川市	22,647	22,614	22,614	22,614	22,614	113,103
外国青年招致事業（ALT）	砂川市	4,629	4,802	3,887	4,802	4,802	22,922
外国青年招致事業（ALTの招致）	歌志内市	3,943	4,355	4,375	4,375	4,375	21,423
英語指導助手に要する経費	奈井江町	5,789	4,748	4,884	4,764	4,764	24,949
ALT関連経費（報酬等）	上砂川町	4,170	4,309	4,499	4,499	4,499	21,976
英語指導助手に要する経費	浦臼町		2,713	2,984	2,984	2,984	11,665
外国青年招致事業	新十津川町	4,283	4,470	4,619	4,470	4,470	22,312
英語指導助手設置経費	雨竜町	5,267	3,883	4,779	5,005	5,005	23,939
	合計	78,281	79,118	76,825	80,704	80,704	395,632

H27年度の主な取組実績	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解を深め、国際感覚豊かな青少年の育成を図り、地域における国際化を推進した。
H28年度の主な取組	引き続き、外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解を深め、国際感覚豊かな青少年の育成を図り、地域における国際化を推進する。
H29年度以降の取組予定	これまでと同様に、外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解を深め、国際感覚豊かな青少年の育成を図り、地域における国際化を推進する。
事業における課題等	H32年度からの学習指導要領改訂（中学校におけるオールイングリッシュ授業、小学校5・6年生の英語の教科化）に伴う圏域内の外国語指導助手（ALT）の小中学校における授業補助の在り方について。

I-3-(3) ア 公の施設の相互利用の推進

【幹事会(企画担当課長会議)】

事業内容	圏域市町が持つ社会教育、文化・スポーツ施設等の効率的な利用を促進するため、公の施設の適正な維持管理・運営事業を行うとともに、施設の相互利用を推進し、圏域住民の利便性の向上を図る。	
効果	公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実が図られる。	
役割分担	滝砂	公の施設の維持管理・運営事業については、各自治体が行う。
	関係市町	公の施設の維持管理・運営事業については、各自治体が行う。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
図書館運営管理経費	芦別市	5,282	9,587	<u>8,316</u>	<u>8,316</u>	<u>8,316</u>	<u>39,817</u>
図書購入費	芦別市	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
図書館運営管理経費	赤平市	4,386	4,778	4,778	4,778	4,778	<u>23,498</u>
図書購入費	赤平市	2,800	3,080	3,080	3,080	3,080	<u>15,120</u>
図書館運営管理経費	滝川市	16,261	16,186	<u>17,271</u>	<u>17,271</u>	<u>17,271</u>	<u>84,260</u>
図書購入費	滝川市	7,000	7,860	<u>7,701</u>	<u>7,701</u>	<u>7,701</u>	<u>37,963</u>
図書館運営管理経費	砂川市	12,077	12,744	<u>18,128</u>	<u>12,201</u>	<u>12,201</u>	<u>67,351</u>
図書購入費	砂川市	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
図書館運営管理経費	歌志内市	1,970	1,985	<u>2,198</u>	<u>2,198</u>	<u>2,198</u>	<u>10,549</u>
図書購入費	歌志内市	610	628	<u>600</u>	<u>600</u>	<u>600</u>	<u>3,038</u>
図書館運営管理経費	奈井江町	2,424	2,405	<u>4,552</u>	<u>1,996</u>	<u>1,937</u>	<u>13,314</u>
図書購入費	奈井江町	1,200	1,200	<u>1,220</u>	<u>1,220</u>	<u>1,220</u>	<u>6,060</u>
図書館運営管理経費	上砂川町	1,197	1,221	<u>1,262</u>	<u>1,262</u>	<u>1,262</u>	<u>6,204</u>
図書購入費	上砂川町	550	550	550	550	550	<u>2,750</u>
図書館運営管理経費	浦臼町	17	17	<u>17</u>	<u>17</u>	<u>17</u>	<u>85</u>
図書購入費	浦臼町	330	330	<u>330</u>	<u>330</u>	<u>330</u>	<u>1,650</u>
図書館運営管理経費	新十津川町	24,750	27,005	<u>24,514</u>	27,005	27,005	<u>130,279</u>
図書購入費	新十津川町	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000
図書館運営管理経費	雨竜町	2,813	2,735	<u>2,459</u>	<u>2,459</u>	<u>2,459</u>	<u>12,925</u>
図書購入費	雨竜町	800	800	800	800	800	<u>4,000</u>
	他						
	合計	97,467	106,111	<u>110,776</u>	<u>104,784</u>	<u>104,725</u>	<u>523,863</u>

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
社会教育施設(文化施設含む)	芦別市	49,067	33,545	43,610	43,610	43,610	213,442
社会体育施設(スポーツ施設含む)	芦別市	95,479	101,116	100,262	100,262	100,262	497,381
社会教育施設(文化施設含む)	赤平市	43,964	41,740	44,229	44,229	44,229	218,391
社会体育施設(スポーツ施設含む)	赤平市	48,956	53,653	49,418	49,418	49,418	250,863
社会教育施設(文化施設含む)	滝川市	123,930	119,130	90,224	90,224	90,224	513,732
社会体育施設(スポーツ施設含む)	滝川市	130,092	131,922	138,180	150,295	150,295	700,784
社会教育施設(文化施設含む)	砂川市	83,422	81,778	85,663	82,406	82,406	415,675
社会体育施設(スポーツ施設含む)	砂川市	49,938	64,091	145,901	55,466	55,466	370,862
社会教育施設(文化施設含む)	歌志内市	29,172	31,908	33,151	33,151	33,151	160,533
社会体育施設(スポーツ施設含む)	歌志内市	12,305	27,548	27,303	27,303	27,303	121,762
社会教育施設(文化施設含む)	奈井江町	60,420	44,630	48,646	42,571	27,261	223,528
社会体育施設(スポーツ施設含む)	奈井江町	36,870	42,335	44,132	39,031	36,031	198,399
社会教育施設(文化施設含む)	上砂川町	19,749	17,492	16,798	16,798	16,798	87,635
社会体育施設(スポーツ施設含む)	上砂川町	10,062	7,778	8,110	8,110	8,110	42,170
社会教育施設(文化施設含む)	浦臼町	1,502	1,536	4,030	1,793	1,793	10,654
社会体育施設(スポーツ施設含む)	浦臼町	7,742	7,187	7,231	7,231	7,231	36,622
社会教育施設(文化施設含む)	新十津川町	63,806	22,050	29,685	22,050	22,050	159,641
社会体育施設(スポーツ施設含む)	新十津川町	71,512	78,387	121,631	78,387	78,387	428,304
社会教育施設(文化施設含む)	雨竜町	12,314	13,014	13,593	13,593	13,593	66,107
社会体育施設(スポーツ施設含む)	雨竜町	14,435	33,684	15,928	10,360	10,360	84,767
	他						
	合計	964,737	954,524	1,067,725	916,288	897,978	4,801,252

H27年度の 主な取組実績	公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実を図った。 また、なかそらち図書館ネットワーク推進事業を実施し、読書普及と生涯学習機会の増加に努めた。
H28年度の 主な取組	引き続き、公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実を図る。 また、図書館の相互利用を促進し、施設と蔵書の有効活用を図るとともに、なかそらち図書館ネットワーク推進事業を実施し、読書普及と生涯学習機会の増加を目指す。
H29年度以降の 取組予定	引き続き、公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実を図る。 また、図書館の相互利用を促進し、施設と蔵書の有効活用を図るとともに、なかそらち図書館ネットワーク推進事業を実施し、読書普及と生涯学習機会の増加を目指す。
事業における 課題等	構成市町の図書館(室)整備状況及び人員配置の違いから、事業実施における取組みへの関心等に差が生じている。

I-4-(1) ア 鳥獣被害防止対策事業

【産業・観光・交流・定住専門部会(農政担当者会議)】

事業内容	<p>農林業への被害防止を図るため、関係機関・団体と連携して協議の場を設け、被害状況や被害防止対策、効果的な駆除対策等の情報交換や、処理費用の軽減に向けた手法を検討するための連携を進める。</p> <p>現状：砂川市と奈井江町、芦別市と赤平市がそれぞれ2自治体で協議会を設置。 滝川市、浦臼町（H24）、新十津川町は単独で協議会を設置。 歌志内市：砂川支部歌志内部会猟友会に委託 上砂川町：砂川支部上砂川部会猟友会に委託 雨竜町は、直接事業として実施。</p> <p>連携するためには、各団体等の対象とするエリア、事業規模、JAや猟友会などの関係団体の調整が必要となる。</p>
効果	広域連携し広域的な防止対策を実施することにより有害鳥獣対策の強化が図られる。
役割分担	<p>滝砂 エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り鳥獣被害防止対策を実施する。</p> <p>関係市町 エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り鳥獣被害防止対策を実施する。</p>
補助制度等	農水省：鳥獣被害防止総合対策交付金事業（推進事業・整備事業）

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
鳥獣被害防止対策事業費	芦別市	13,689	13,740	13,351	13,351	13,351	67,482
鳥獣駆除等業務委託料(猟友会委託料)	赤平市	1,040	1,043	1,043	1,043	1,043	5,212
有害鳥獣対策事業	滝川市	400	224	400	400	400	1,824
猟友会報償費	滝川市	610	610	610	610	610	3,050
鳥獣被害防止対策協議会補助金	滝川市	57	57	57	57	57	285
有害鳥獣対策事業費	砂川市	891	772	1,546	1,546	1,546	6,301
有害鳥獣対策連絡協議会補助金事業	砂川市	91	23	50	91	91	346
鳥獣駆除等業務委託料(猟友会委託料)	砂川市	433	433	543	543	543	2,495
有害鳥獣等対策協議会補助金	歌志内市	538	698	1,678	1,678	1,678	6,270
有害鳥獣運搬業務委託料	歌志内市			1,620	1,620	1,620	4,860
狩猟免許取得支援事業	歌志内市			38	38	38	114
有害鳥獣駆除対策事業	奈井江町	50	59	81	59	59	308
鳥獣駆除等業務委託料(猟友会委託料)	上砂川町	150	181	621	181	181	1,314
有害鳥獣駆除対策事業	浦臼町	1,205	1,205	1,193	1,193	1,193	5,989
有害鳥獣駆除対策事業	新十津川町	3,386	1,899	8,648	8,648	8,648	31,229
有害鳥獣駆除対策協議会負担金	新十津川町		1,662	3,458	3,458	3,458	12,036
有害鳥獣駆除対策事業	雨竜町	637	648	996	996	996	4,273
	合計	23,177	23,254	35,933	35,512	35,512	153,388

H27年度の主な取組実績	<p>各団体において、鳥獣被害防止対策を実施するとともにハンターの育成に努めた。また、行政担当者による担当者会議を開催し、有害鳥獣出没や防止設備などについて情報共有し、連携を図った。</p>
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

H28年度の 主な取組	各団体において、鳥獣被害防止対策を実施した。また、ハンター育成のため新規に銃猟免許を取得した者に対し、奨励金の支給などを行う。
H29年度以降の 取組予定	上記に同じ
事業における 課題等	ハンターの高齢化に伴う新人の育成と有害鳥獣の増加に伴う処理費用の増加が、課題となっている。

I-4-(2) ア 観光・物産・交流事業

【産業・観光・交流・定住専門部会】

事業内容		圏域における観光と地場製品の振興を図るため、各市町が有する観光、食、物産品等の地域資源の魅力や付加価値を維持・向上させ地域ブランドの情報を発信していくとともに、関係団体と連携し地産地消、物産振興、地域ブランドの販路拡大を図り、都市と農村の交流、観光ルートの開発やイベント等を通して観光振興、農商工の振興を図る。
効果		中空知の地域資源の魅力や付加価値を発信することで、地域の知名度アップと海外を含めた誘客促進、地場製品の物産振興が図られ、人的交流による広域観光ニーズへの対応と、長期滞在や回遊性の向上による圏域内の経済効果の拡大、競争力の高い魅力ある観光地の形成に資する。
役割分担	滝砂	圏域内のイベント及び物産情報を集約し、圏域内外に向けて発信するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。
	関係市町	イベント及び物産情報等を提供するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
観光・物産・交流事業	芦別市	101,347	101,135	101,996	101,996	101,996	508,470
中空知広域圏負担金(観光事業分)	芦別市	601	559	708	708	708	3,284
観光・物産・交流事業	赤平市	9,600	8,300	9,500	9,500	9,500	46,400
中空知広域圏負担金(観光事業分)	赤平市	480	453	576	576	576	2,661
観光・物産・交流事業	滝川市	47,440	42,056	48,560	48,560	48,560	235,176
中空知広域圏負担金(観光事業分)	滝川市	1,141	1,071	1,379	1,379	1,379	6,349
観光・物産・交流事業	砂川市	11,626	11,683	15,969	14,295	14,295	67,868
中空知広域圏負担金(観光事業分)	砂川市	640	603	771	771	771	3,556
観光・物産・交流事業	歌志内市	600	600	600	600	600	3,000
中空知広域圏負担金(観光事業分)	歌志内市	300	279	357	357	357	1,650
観光・物産・交流事業	奈井江町	10	10	1,205	1,010	1,010	3,245
中空知広域圏負担金(観光事業分)	奈井江町	348	326	415	415	415	1,919
観光・物産・交流事業	上砂川町	2,550	2,600	2,600	2,600	2,600	12,950
中空知広域圏負担金(観光事業分)	上砂川町	270	253	326	326	326	1,501
観光・物産・交流事業	浦臼町	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	37,500
中空知広域圏負担金(観光事業分)	浦臼町	254	238	306	306	306	1,410
観光・物産・交流事業	新十津川町	7,800	7,800	65,565	65,565	65,565	212,295
中空知広域圏負担金(観光事業分)	新十津川町	399	373	478	478	478	2,206
観光・物産・交流事業	雨竜町	1,701	1,993	2,813	2,727	3,000	12,234
中空知広域圏負担金(観光事業分)	雨竜町	272	256	330	330	330	1,518
	合計	194,879	188,088	261,954	259,999	260,272	1,165,192

H27年度の主な取組実績	<p>中空知の地域資源の魅力や付加価値を発信するため、中空知花火大会スタンプラリーを実施(応募総数:209)するとともに中空知5市5町のイベントカレンダーにより情報発信を行った。</p> <p>砂川SAスマートIC開通に併せて、北海道じゃらん特集ページを掲載し、PRに努めるとともに中空知のグルメ・物産振興を図るため「なかそらち大収穫祭」に出店し、魅力発信に努めた。</p>
--------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

H28年度の 主な取組	<p>中空知の地域資源の魅力や付加価値を発信するため、中空知花火大会スタンプラリーを引き続き実施するとともに中空知5市5町のイベントカレンダーを作成し、情報発信を行った。また、グルメ・物産の振興を図るため「さっぽろオータムフェスト」「はこだてグルメガーデン」をはじめ各地の物産展に出展しPRに努めた。引き続き「なかそらち大収穫祭」に出店協力し、地域の魅力発信を行う。</p> <p>広域観光ニーズを把握するとともに観光ルートを開発するため、周遊観光モニターツアーを実施する。</p>
H29年度以降の 取組予定	上記に同じ
事業における 課題等	<p>インバウンド観光及び圏域観光ニーズへの対応、長期滞在や回遊性の向上による圏域内の経済効果の拡大が課題となっている。また、老朽化に伴う観光施設の計画修繕が、課題となっている。</p>

I-4-(3) ア 雇用・就業支援対策事業

【産業・観光・交流・定住専門部会】

事業内容		<p>関係企業の従業員や求職者及び地域住民に対し、職業教育訓練を実施し企業の担い手の育成に資するほか、積雪寒冷期における季節労働者の失業を減らすため、セミナー、講習会を開催して啓発を行い、さらに季節労働者が技能資格の取得等によって、通年雇用化を目指す。</p> <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中小企業労働者や求職者及び地域住民の職業教育訓練を目的としたスキルアップセンター空知の運営を支援。 ・地域における季節労働者対策として砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町で砂川地域通年雇用促進協議会を設置、芦別市、赤平市、滝川市、新十津川町、雨竜町で滝川地域通年雇用促進協議会を設置、浦臼町は、美唄市と美唄市季節労働者通年雇用促進協議会を設置。
効果		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修・技能講習・資格試験などの職業教育訓練を通し、労働者の技能向上、求職者の就労支援が図られている ・各地域のニーズに応じた様々な事業を展開し、季節労働者の通年雇用化に一定の成果が表れている。
役割分担	滝砂	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との連携により技能者等センター機能の充実と利用促進を図る。 ・季節労働者支援のため、事務局や雇用促進支援員を配置し、積極的な事業の推進を図る。
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> ・技能者等のセンター機能の利用によるスキルアップの向上を図る。 ・関係団体と協働で季節労働者の通年雇用化を促進する。
補助制度等		厚生労働省委託事業。北海道～季節労働者資格取得促進事業

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
協会、通促進支援負担金	芦別市	716	732	726	726	726	3,626
協会、通促進支援負担金	赤平市	859	865	885	885	885	4,379
協会、通促進支援負担金	滝川市	16,851	16,857	16,853	16,853	16,853	84,267
協会、砂川通促進支援負担金	砂川市	1,013	1,013	981	981	981	4,969
協会、砂川通促進支援負担金	歌志内市	346	346	346	346	346	1,730
協会、砂川通促進支援負担金	奈井江町	347	347	375	375	375	1,819
協会、砂川通促進支援負担金	上砂川町	20	20	20	20	20	100
協会、通促進支援負担金	浦臼町	213	213	213	213	213	1,065
協会、通促進支援負担金	新十津川町	552	570	581	581	581	2,865
協会、通促進支援負担金	雨竜町	251	254	259	259	259	1,282
	合計	21,168	21,217	21,239	21,239	21,239	106,102

H27年度の主な取組実績	<p>通年雇用促進協議会における研修や技能講習の受講や資格取得により、季節労働者の通年雇用を促進した。(滝川地域32名・砂川地域 名・浦臼地域5名)</p> <p>スキルアップセンター空知において地域における中小企業労働者・求職者・地域住民に対し、各種職業教育訓練を行うとともに職業講習・研修及び住民講座等を行った。(利用延人数23,757名)</p>
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

H28年度の 主な取組	<p>通年雇用促進協議会におけるアンケート調査や研修及び技能講習の受講ならびに資格取得により、季節労働者の通年雇用を促進する。</p> <p>地域の中小企業の従業員や求職者及び地域住民に対し、職業教育訓練を実施し企業の担い手の育成に資するため、スキルアップセンター空知の運営を支援する。</p> <p>高校生等の地元への就職支援を図るため、空知総合振興局と連携し地元就職応援フェア地元企業合同説明会を8月4日に実施した。(参加20社)</p>
H29年度以降の 取組予定	上記に同じ
事業における 課題等	<p>人手不足が続く建設業界で、職業訓練の重要性が再認識されている。技能や資格が必要な作業が多いが、人材は一朝一夕には育たず、地道な育成の努力が欠かせない。また、女性や若者を定着させるため、働きやすい職場づくりが課題となっている。</p>

I-5-(1) ア 廃棄物処理施設等の広域利用の推進

【環境・衛生専門部会】

事業内容		<p>事業の安定的かつ効率的な運営を推進しながら、処理施設等の広域利用を行う。</p> <p>【現状】</p> <p>○一般廃棄物処理施設 [中継施設] ・リサイクルクリーン（滝）滝川市、芦別市（生ごみのみ）、赤平市、新十津川町、雨竜町 ・クリーンプラザくるくる（砂）砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町 [焼却処理施設] ・中・北空知エネクリーン（中）滝川市、赤平市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町及び北空知1市4町</p> <p>○汚泥等受入施設（し尿及び浄化槽汚泥処理施設） （石狩川流域下水道奈井江浄化センター内に建設。平成27年4月供用開始） 滝川市、芦別市、赤平市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町及び南空知1市1町</p> <p>◇汚泥等受入施設供用開始に伴い、旧処理施設は平成27年3月末に休止 ・中空知衛生センター（滝）滝川市、新十津川町、雨竜町 ・砂奈浦衛生センター（砂）（H20休止）砂川市、奈井江町、上砂川町、浦臼町 ・単独：歌志内市衛生センター、赤平市浄化センター、奈井江浄化センター</p> <p>○火葬施設 ・滝の川斎苑（滝）滝川市、赤平市、新十津川町、雨竜町 ・吉野斎苑（砂）砂川市、歌志内市、上砂川町 ・奈井江葬斎場 奈井江町、浦臼町 （単独：芦別市）</p> <p>※ 課題＝老朽化に伴う施設の建替費用や廃止施設の解体費用、ごみ・し尿の収集業務等の取扱いについて、今後、必要に応じて検討 ※ （滝）は中空知衛生施設組合、（砂）は砂川地区保健衛生組合、（中）は中・北空知廃棄物処理広域連合</p>
効果		施設の建設・管理、事業運営を共同で行うことで、経費節減や事業効率化が図られる。
役割	滝 砂	各自治体が応分の経費を負担する。
分担	関係市町	各自治体が応分の経費を負担する。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
一部事務組合負担金等	芦別市	239,291	165,628	163,215	163,403	163,403	894,940
一部事務組合負担金等	赤平市	249,274	175,307	196,692	190,447	190,447	1,002,167
一部事務組合負担金等	滝川市	577,152	554,569	636,586	619,318	619,318	3,006,943
一部事務組合負担金等	砂川市	316,962	309,768	320,583	320,583	320,583	1,588,479
一部事務組合負担金等	歌志内市	75,067	125,004	70,034	67,727	67,727	405,559
一部事務組合負担金等	奈井江町	105,353	99,156	98,076	88,456	88,456	479,497
一部事務組合負担金等	上砂川町	89,805	81,957	67,210	67,210	67,210	373,392
一部事務組合負担金等	浦臼町	59,444	63,325	39,405	56,480	56,480	275,134
一部事務組合負担金等	新十津川町	126,522	99,375	103,700	103,700	103,700	536,997
一部事務組合負担金等	雨竜町	62,578	53,596	57,835	61,141	61,141	296,291
	合計	1,901,448	1,727,685	1,753,336	1,738,465	1,738,465	8,859,399

H27年度の 主な取組実績	H27年4月汚泥等受入施設（し尿及び浄化槽汚泥処理施設）供用開始 滝川市、芦別市、赤平市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町及び南空知1市1町 一般廃棄物処理施設・火葬施設については、それぞれ事業内容欄記載の施設において事業を実施
H28年度の 主な取組	引き続き処理施設等の広域利用を実施
H29年度以降の 取組予定	引き続き処理施設等の広域利用を実施予定
事業における 課題等	老朽化に伴う施設の建替費用や廃止施設の解体費用、ごみ・し尿の収集業務等の取扱いについて、今後、必要に応じて検討

I-5-(2) ア 消費生活相談の広域対応

【環境・衛生専門部会】

事業内容		<p>複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、相談体制の維持・確保を図るとともに、被害情報等を共有化しながら、広域的な取組を推進する。</p> <p>【現状】</p> <p>滝川地方消費者センター（滝川市、<u>歌志内市 (H28.9～)</u>、奈井江町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） （単独：芦別市、赤平市、砂川市、上砂川町）</p>
効果		広域的消費生活相談事業の推進によって、圏域住民の消費生活の安定と向上が図られる。
役割分担	滝砂	<p>消費者センター等における消費生活相談員の資質向上に努め、相談体制の充実を図りながら、圏域住民を対象とした消費生活相談を実施する。 （必要に応じて関係市町と相談内容、対応状況等の情報交換を行う）</p>
	関係市町	<p>消費者センター等と連携し、消費者相談の円滑化を図りながら、応分の経費を負担する。 （必要に応じて関係市町と相談内容、対応状況等の情報交換を行う）</p>
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
消費生活相談業務	芦別市	2,555	3,341	3,292	3,649	3,649	16,486
消費生活相談業務	赤平市	3,402	1,962	1,964	1,964	1,964	11,256
滝川地方消費者センター相談事業	滝川市	2,447	2,447	2,453	3,030	3,030	13,407
消費生活相談業務	砂川市	1,124	1,225	1,231	1,231	1,231	6,042
消費生活相談業務	歌志内市	155	359	0	0	0	514
滝川地方消費者センター相談事業	歌志内市	0	0	190	222	222	634
滝川地方消費者センター相談事業	奈井江町	234	234	222	280	280	1,250
消費生活相談業務	上砂川町	1,771	1,737	1,819	1,819	1,819	8,965
滝川地方消費者センター相談事業	浦臼町	125	125	118	146	146	660
滝川地方消費者センター相談事業	新十津川町	315	315	318	395	395	1,738
滝川地方消費者センター相談事業	雨竜町	160	153	139	180	180	812
	他						
	合計	12,288	11,898	11,746	12,916	12,916	61,764

H27年度の主な取組実績	相談体制の維持・確保を図るとともに、被害情報等を共有化しながら、広域的な取組を推進
H28年度の主な取組	H27年度と同内容の取組を予定しているが、H28年9月から歌志内市の消費生活相談業務を滝川地方消費者センターにおいて実施予定

H29年度以降の 取組予定	H28年度と同内容の取組を予定
事業における 課題等	特になし。

I-6-(1) ア 広域防災体制の連携推進

【人材育成・防災専門部会】

事業内容		災害時に必要な情報の共有、迅速な対応を図るための応援体制の確立に向けて、平常時より情報交換や事業の連携を進め、広域防災体制の整備と強化を図る。
効果		災害時における迅速かつ細やかな相互応援体制が構築され、住民が安心して生活できる圏域の形成が図られる。
役割分担	滝砂	災害時に情報共有を図ると共に職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。
	関係市町	災害時に情報共有を図ると共に職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。
補助制度等		福祉避難施設に備蓄する場合は、地域づくり総合交付金(福祉振興・介護保険基盤整備事業)に該当。(交付基準額：1ヶ所150万円 交付率1/2)

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
防災備蓄品の購入	芦別市	71	602	219	71	71	1,034
災害備蓄品の購入	赤平市	2,329	1,550	1,547	528	1,547	7,501
災害対策に要する経費(備蓄品購入)	滝川市	5,195	572	513	700	700	7,680
災害対策に要する経費(備蓄品購入費)	砂川市	3,755	746	96	100	100	4,797
防災用備蓄物品購入	歌志内市	2,296	1,541	247	300	300	4,684
防災に要する経費(備蓄品)	奈井江町	2,127	2,031	2,996	1,319	453	8,926
防災備蓄品購入事業	上砂川町	1,400	1,500	2,100	1,100	1,100	7,200
備蓄品購入費(需用費)	浦臼町	690	649	715	715	715	3,484
災害救助物資備蓄事業	新十津川町	99	99	96	99	99	492
防災備品関係	雨竜町	2,801	2,516	900	300	500	7,017
	他						
	合計	20,763	11,806	9,429	5,232	5,585	52,815

H27年度の主な取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回人材育成・防災専門部会(防災部会)を開催(11/26)し、備蓄状況の確認及び防災協定について協議し、その後、防災協定については書面会議により協定書を策定し、平成28年7月頃に締結することとした。 ・石狩川滝川地区水害タイムラインについて、滝川市が事務局となって勉強会及び検討会を3回開催し、構成市町はオブザーバーとして参加した。
H28年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「中空知5市5町防災に関する協定」の締結(7月5日) ・滝川地区タイムラインの検討会を3回開催した ・専門部会により、8月の台風による対応、被害についての情報共有 ・中空知広域圏10市町での防災備蓄品の最新備蓄状況の把握・広域避難所の追加変更などの情報共有

H29 年度以降の 取組予定	<ul style="list-style-type: none">・ 災害対応についての情報共有・ 防災訓練等の共同開催及び参加・ 防災備蓄品の最新備蓄状況の把握・広域避難所などの情報共有
事業における 課題等	<ul style="list-style-type: none">・ 構成市町の職員数及び災害経験者数の減の中での効率的な活動

I-6-(1) イ 消防相互応援体制の整備

【幹事会(企画担当課長会議)】

事業内容		<u>平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進め、また、消防職員及び消防団員の資質向上に努めることにより、災害時や緊急時において、迅速かつ的確な対応を行うことができる応援体制の整備を推進するとともに、消防施設等の整備拡充を進め消防力の強化を図る。</u>
効果		<u>災害時や緊急時における迅速かつ細やかな相互応援体制が整備され、住民が安心して生活できる圏域の形成が図られる。</u>
役割分担	滝砂	<u>災害時や緊急時において、関係市町と協力し、迅速かつ的確な対応を行うため、平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進め、消防力を強化し、防災力の向上を図る。</u>
	関係市町	<u>災害時や緊急時において、関係市町と協力し、迅速かつ的確な対応を行うため、平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進め、消防力を強化し、防災力の向上を図る。</u>
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
消防施設等整備事業	芦別市			27,627	37,224	114,811	179,662
消防団員連携交流事業	芦別市			18	18	18	54
消防施設等整備事業	赤平市			65,200	16,000	134,500	215,700
消防団員連携交流事業	赤平市			18	18	18	54
消防施設等整備事業	滝川市			631,766	1,144,994	81,923	1,858,683
消防団員連携交流事業	滝川市			18	18	18	54
消防施設等整備事業	砂川市			1,121	1,121	1,121	3,363
消防団員連携交流事業	砂川市			24	18	18	60
消防施設等整備事業	歌志内市			0	9,524	16,318	25,842
消防団員連携交流事業	歌志内市			18	18	24	60
消防施設等整備事業	奈井江町			158,669	121,365	122,358	402,392
消防団員連携交流事業	奈井江町			18	18	18	54
消防施設等整備事業	上砂川町			101,030	68,000	30,000	199,030
消防団員連携交流事業	上砂川町			18	24	18	60
消防施設等整備事業	浦臼町			12,153	43,720	28,946	84,819
消防団員連携交流事業	浦臼町			18	18	18	54
消防施設等整備事業	新十津川町			914	914	914	2,742
消防団員連携交流事業	新十津川町			18	18	18	54
消防施設等整備事業	雨竜町			98,389	648	648	99,685
消防団員連携交流事業	雨竜町			18	18	18	54
情報交換事業	各市町			0	0	0	0
	合計			1,097,055	1,443,696	531,725	3,072,476

H27年度の 主な取組実績	※H28年度から協定に追加されたため、記載事項無し。
------------------	----------------------------

H28年度の 主な取組	消防団員連携交流事業として、中空知分会連合消防演習を実施した（7月25日、砂川市）。 情報交換事業として、実務者レベルの連絡会議を開催。
H29年度以降の 取組予定	消防団員連携交流事業として、中空知分会連合消防演習を実施（H29：上砂川町、H30：歌志内市、H31：奈井江町）。 情報交換事業として、実務者レベルの連絡会議を開催。
事業における 課題等	今後、上記事業を実施する中で、課題を検討する。

Ⅱ-1-(1) ア 多様な生活交通路線の確保

【地域公共交通専門部会】

事業内容		乗り合いバス事業者等への支援を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図るとともに、多様な交通手段の検討を行う。
効果		関係市町における公共交通の利便性を確保する。
役割分担	滝砂	関係市町及び事業者等と協議しながら、通勤・通学・通院・買い物など、住民の利便性の確保を図るとともに、事業実施にかかる市町負担額をルールに基づき負担する。
	関係市町	関係市町及び事業者等と協議しながら、通勤・通学・通院・買い物など、住民の利便性の確保を図るとともに、事業実施にかかる市町負担額をルールに基づき負担する。
補助制度等		※市町負担額への特別交付税措置（80%）

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
多様な生活交通路線の確保	芦別市	15,125	15,704	<u>31,870</u>	<u>27,437</u>	<u>27,437</u>	<u>117,573</u>
	赤平市						
多様な生活交通路線の確保	滝川市	7,014	7,203	<u>8,461</u>	<u>8,461</u>	<u>8,461</u>	<u>39,600</u>
多様な生活交通路線の確保	砂川市	5,233	6,585	<u>8,192</u>	<u>8,192</u>	<u>8,192</u>	<u>36,394</u>
多様な生活交通路線の確保	歌志内市	8,946	10,040	<u>10,613</u>	<u>10,613</u>	<u>10,613</u>	<u>50,825</u>
多様な生活交通路線の確保	奈井江町	10,605	17,205	<u>8,969</u>	<u>9,869</u>	<u>9,615</u>	<u>56,263</u>
多様な生活交通路線の確保	上砂川町	2,673	2,673	<u>3,364</u>	<u>3,364</u>	<u>3,364</u>	<u>15,438</u>
多様な生活交通路線の確保	浦臼町	10,847	13,142	<u>11,363</u>	<u>11,363</u>	<u>11,363</u>	<u>58,078</u>
多様な生活交通路線の確保	新十津川町	20,400	17,355	<u>20,716</u>	<u>17,355</u>	<u>17,355</u>	<u>93,181</u>
多様な生活交通路線の確保	雨竜町	4,403	5,302	<u>5,496</u>	<u>5,496</u>	<u>5,496</u>	<u>26,193</u>
	他						
	合計	85,246	95,209	<u>109,044</u>	<u>102,150</u>	<u>101,896</u>	<u>493,545</u>

H27年度の 主な取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・空知地域生活交通確保対策協議会及び各分科会等においてバス交通の維持・確保に関する計画の策定や協議を実施した。 ・乗り合いバス事業者等への支援を行い、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図った。
H28年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・空知地域生活交通確保対策協議会及び各分科会等においてバス交通の維持・確保に関する計画の策定や協議を実施した。 ・乗り合いバス事業者等への支援を行い、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図る。
H29年度以降の 取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・空知地域生活交通確保対策協議会及び各分科会等においてバス交通の維持・確保に関する計画の策定や協議を実施する。 ・乗り合いバス事業者等への支援を行い、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図る。

事業における課題等	・人口減少が進む中、年々、乗り合いバスの利用客が減少し、各市町の負担額が増加している。今後、地域の足である路線バスを維持するために、利用客の確保と効率的な運行により収支改善を図る必要がある。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

II-2-(1)ア 地域を結ぶ道路ネットワークの構築及び生活幹線道路の整備【幹事会(企画担当課長会議)】

事業内容	日常生活の利便性の向上や地域産業及び地域経済を支える道路ネットワークの構築を図るため、広域的な視点での主要幹線道路へのアクセス道路をはじめとする生活道路の整備充実を図る。また、各種期成会活動を通じ、圏域及び隣接する自治体を結ぶ国道・道道などの幹線道路網等の促進に向けた取り組みを推進する。	
効果	地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進が図られる。	
役割分担	滝砂	生活幹線道路の整備及び幹線道路網の促進に関し、広域的な視点による道路ネットワークの構築に向けた取り組みを進めるとともに、各自治体が必要な経費を負担する。
	関係市町	生活幹線道路の整備及び幹線道路網の促進に関し、広域的な視点による道路ネットワークの構築に向けた取り組みを進めるとともに、各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
道路新設改良事業	芦別市	78,100	70,000	83,700	83,700	83,700	399,200
道路新設改良事業	赤平市	97,021	157,500	158,400	97,500	93,800	604,221
道路新設改良事業費	滝川市	282,460	267,000	249,106	257,500	199,800	1,255,866
国道451号道路整備 促進期成会負担金	滝川市	182	121	0	0	0	303
道路新設改良事業	砂川市	451,630	508,394	405,150	503,040	506,430	2,374,644
道路新設改良事業	歌志内市	17,419	3,338	8,458	8,458	8,458	46,131
道路新設改良事業	奈井江町	21,000	4,000	59,494	5,920	4,236	94,650
道路維持及び舗装補修	上砂川町	63,760	48,000	29,388	56,420	55,100	252,668
道路新設改良事業	浦臼町	17,400	21,400	29,290	27,000	25,000	120,090
道路整備事業 (町道の改良舗装事業)	新十津川町	119,612	75,522	114,273	75,522	75,522	460,451
国道451号道路整備 促進期成会負担金	新十津川町	161	108	0	0	0	269
町道整備事業	雨竜町	60,280	56,308	35,455	35,455	35,455	222,953
	他						
	合計	1,209,025	1,211,691	1,172,714	1,150,515	1,087,501	5,831,446

H27年度の 主な取組実績	地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進を図った。
H28年度の 主な取組	引き続き、地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進を図る。
H29年度以降の 取組予定	引き続き、地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進を図る。
事業における 課題等	社会インフラの老朽化が社会問題となっている。特に橋梁等の修繕、改築には莫大な予算が伴うことから自治体予算だけでは対応できず、国の予算の拡充が求められる。また、自治体の技術職員の不足や、それに伴う技術力不足が深刻な課題となっている。

Ⅱ-2-(1) イ 冬季の安全な道路交通確保事業

【幹事会(企画担当課長会議)】

事業内容		冬期間の雪による道路交通の障害が、緊急車両の通行の妨げや慢性的な交通渋滞を引き起こし、圏域の大きな課題となることから、地域の実情に応じ、効率的な除排雪を行い、冬季の安全な道路交通を確保する。 事例 新十津川町と滝川市の事例：境界での橋梁部分の除雪費按分 街路灯の広域連携経費 砂川市と奈井江町の境界除雪費按分
効果		地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制が整備されることにより、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策が図られる。
役割分担	滝砂	各自治体が必要な経費を負担する。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
積算		除排雪事業に要する経費、冬季の安全対策に要する経費を積算。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
	芦別市						
	赤平市						
平成橋に係る除雪経費(協定分)	滝川市	150	150	150	150	150	750
除排雪に要する経費(奈井江町と連携分)	砂川市	833	932	932	932	932	4,561
	歌志内市						
除排雪に要する経費(砂川市と連携分)	奈井江町	1,182	1,182	1,182	1,182	1,182	5,910
	上砂川町						
	浦臼町						
冬季除雪事業(他市町へ委託分)	新十津川町	960	960	960	960	960	4,800
町道管理負担金	雨竜町	203	200	200	200	200	1,003
	他						
	合計	3,328	3,424	3,424	3,424	3,424	16,487

H27年度の主な取組実績	地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制を整備し、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策を図った。
H28年度の主な取組	引き続き、地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制を整備し、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策を図る。

H29 年度以降の 取組予定	引き続き、地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制を整備し、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策を図る。
事業における 課題等	近年の公共事業削減により人員削減が行われ、除雪機械は、購入費、維持費を賄うだけの収益が上がらず、更新もままならない。このような状況から、建設業者の道路除雪事業からの撤退、廃業が懸念されている。また、除雪機械オペレーターの高齢化や技術の伝承も深刻な問題であり、今後の除雪行政への多大な影響が想定される。

II-3-(1) ア 交流推進、移住定住促進

【幹事会(企画担当課長会議)】

事業内容		地域で育まれた生活文化や固有の風土等を知るために、相互交流に取り組む。また、地域における多様な魅力や暮らしや住まいに関する情報（賃貸物件や空き家情報等）やイベント情報などを各市町がそれぞれ情報発信するほか、北海道移住促進協議会、 <u>中空知住み替え支援協議会</u> をはじめとする関係団体と連携し、圏域内への移住を促進するために必要な情報の発信を行うなど、交流・定住人口の増加により、地域の活性化を図る。
効果		各施策・事業の取組みによって、交流人口の拡大と圏域内への定住促進が期待される。
役割分担	滝砂	各自自治体が必要な経費を負担する。
	関係市町	各自自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
移住・定住促進業務に要する経費	芦別市	27,376	24,954	25,368	25,368	25,368	128,434
<u>中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業</u>	芦別市			1,715			1,715
北海道移住促進協議会負担金	赤平市	50	50	50	50	50	250
あんしん住宅助成	赤平市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
<u>中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業</u>	赤平市			1,715			1,715
住み替え支援事業補助金	滝川市	7,768	10,230	11,567	12,000	12,000	53,565
<u>中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業</u>	滝川市			29,342			29,342
移住定住促進に要する経費	砂川市	633	644	1,602	1,602	1,602	6,083
北海道移住促進協議会負担金	砂川市	50	50	50	50	50	250
ハートフル住まい推進事業(取得・改修)	砂川市	23,900	46,220	47,800	47,800	47,800	213,520
<u>中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業</u>	砂川市			1,715			1,715
定住促進事業	歌志内市	3,727	3,050	3,743	3,743	3,743	18,006
<u>中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業</u>	歌志内市			1,715			1,715
まちづくり定住促進対策事業	奈井江町	26,857	42,369	43,438	30,883	30,883	174,430
<u>中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業</u>	奈井江町			1,715			1,715
移住定住奨励金	上砂川町	1,000	4,500	2,400	2,400	2,400	12,700
<u>中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業</u>	上砂川町			1,715			1,715
定住促進事業(H25～)	浦臼町	5,152	4,354	15,099	15,099	15,099	54,803
<u>中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業</u>	浦臼町			1,715			1,715
定住促進事業	新十津川町	39,600	54,900	54,900			149,400
安心すまいる助成事業(H24～)	新十津川町	5,300	4,150	4,150	4,150	4,150	21,900
<u>中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業</u>	新十津川町			1,715			1,715
定住促進事業	雨竜町	9,200	9,800	14,400	14,400	14,400	62,200

中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	雨竜町			1,715			1,715
	合計	160,613	215,271	279,344	167,545	167,545	990,318

H27年度の 主な取組実績	各施策・事業の取組みによって、交流人口の拡大と圏域内への定住促進を図った。
H28年度の 主な取組	地方創生推進交付金を活用し、5市5町が連携し、中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業を実施した。
H29年度以降の 取組予定	引き続き、各施策・事業の取組みによって、交流人口の拡大と圏域内への定住促進を図る。
事業における 課題等	住み替え支援制度を利用を希望する子育て世帯等の問い合わせは多く、需要は大きい。更なる魅力ある中古住宅の発掘が重要であり、広域化による中空知の取組みとして、移住定住者向けに中古住宅を提供していきたい。

Ⅱ-4-(1) ア 電算システムの共同運用

【幹事会(企画担当課長会議)】

事業内容		戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化並びにシステム導入・維持管理経費の軽減につながるほか、さらなる行政事務の電算システムの共同化に向けた検討、情報交換を行う。
効果		圏域の自治体個別でシステムを導入する場合に比較して経費削減が図られるとともに、システムの導入により戸籍の作成までの日数や戸籍証明書の発行時間が大幅に短縮されたことにより、住民サービスの向上が図られる。
役割分担	滝砂	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務を滝川市が受託し、砂川市は関係市町とともに同事務に関する事務を滝川市に委託する。また、引き続き、広域連携が可能な電算システムの共同化に向けての情報交換・調査検討を行う。
	関係市町	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務を滝川市に委託する。また、引き続き、広域連携が可能な電算システムの共同化に向けての情報交換・調査検討を行う。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
共同運用	芦別市	3,460	3,438	3,440	3,440	3,440	17,218
共同運用	赤平市	3,185	3,169	3,171	3,171	3,171	15,867
共同運用	滝川市	4,299	4,274	4,531	4,531	4,531	22,166
共同運用	砂川市	3,123	3,107	3,109	3,109	3,109	15,557
共同運用	歌志内市	2,698	2,686	2,688	2,688	2,688	13,448
共同運用	奈井江町	3,022	2,315	2,317	2,317	7,269	17,240
共同運用	上砂川町	2,412	2,402	2,404	2,404	2,404	12,026
共同運用	浦臼町	1,970	1,964	1,966	1,966	1,966	9,832
共同運用	新十津川町	2,480	2,479	2,589	2,479	2,479	12,611
共同運用	雨竜町	2,010	2,003	2,005	2,005	2,005	10,028
	他						
	合計	28,659	27,837	28,220	28,110	33,062	145,993

H27年度の主な取組実績	戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化並びにシステム導入・維持管理経費の軽減を図った。
H28年度の主な取組	引き続き、戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化並びにシステム導入・維持管理経費の軽減を図るほか、さらなる行政事務の電算システムの共同化に向けた検討、情報交換を行う。
H29年度以降の取組予定	引き続き、戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化並びにシステム維持管理経費の軽減を図り、電算システムの次期更新に向けた検討、情報交換を行う。

事業における 課題等	平成30年度の機器等の更新に係る準備。
---------------	---------------------

Ⅲ-1-(1) ア 職員研修

【人材育成・防災専門部会】

事業内容		圏域職員の資質および政策課題への対応力等を高めるとともに職員間のネットワークを強化するため、合同研修を実施する。
効果		圏域における合同研修会の開催によって、職員の資質向上と職員間のネットワークが構築される。
役割分担	滝 砂	乙と連携して合同研修を実施する。 必要に応じ、研修の講師として外部から専門家の招へいを行う。
	関係市町	職員を合同研修会に参加させるとともに、応分の経費を負担する。

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
職員研修に要する経費	芦別市	4,196	3,610	3,679	3,679	3,679	18,843
職員研修旅費, 講師謝礼	赤平市	413	670	667	667	667	3,084
職員の研修に要する経費	滝川市	7,833	7,123	6,443	6,443	6,443	34,285
職員研修に要する経費	砂川市	2,341	2,493	3,614	3,614	3,614	15,676
職員研修に要する経費	歌志内市	389	452	752	752	752	3,097
職員の研修に要する経費(旅費)	奈井江町	1,980	2,879	2,913	2,913	2,913	13,598
人材育成事業	上砂川町	28	331	512	512	512	1,895
職員研修旅費	浦臼町	936	1,245	1,432	1,432	1,432	6,477
職員研修事業	新十津川町	4,801	5,057	5,056	5,056	5,056	25,026
職員研修に要する経費	雨竜町	863	917	1,352	1,352	1,352	5,836
	合計	23,780	24,777	26,420	26,420	26,420	127,817

H27年度の 主な取組実績	<p>5.26-27 接遇研修「接遇とコミュニケーション」講師 阿部みどり 氏 参加48名</p> <p>6.5 人事評価制度研修「札幌市の人事評価制度」 講師 札幌市人事課調査担当課長 渋谷洋幸 氏 参加22名</p> <p>8.25 女性リーダー研修「女性人材の積極的活用と人生を幸せに導く良い習慣」 講師 (株)イマジンプラス社長 笹川祐子 氏 参加28名</p> <p>9.18 ストレスチェックとメンタルヘルス研修「ストレスチェックとメンタルヘルス」 講師 北海道医療大学教授 富岡直明 氏 参加24名</p> <p>2.2 人事評価制度研修「人事評価制度研修(管理者)」 講師 (株)インソース 池内直人 氏 参加35名</p>
H28年度の 主な取組	<p>引き続き合同研修会を開催することにより、職員の資質向上と職員間のネットワーク構築を図る。</p> <p>また、新たな共通課題が発生した場合、構築された職員間のネットワークを活用し課題解決を図る。</p>
H29年度以降の 取組予定	同上
事業における 課題等	特になし。

Ⅲ-1-(1) イ 大学を活用した人材育成

【人材育成・防災専門部会】

事業内容		大学等の高等教育機関との各市町もしくは広域圏協働による連携事業を検討し、実施する。
効果		大学等の高等教育機関の知的財産を活用することにより、地域文化、地域福祉、地域産業、生涯学習など様々な分野で地域をけん引する多様な人材の育成が図られる。
役割分担	滝砂	高等教育機関等と関係市町間（広域圏含む）で連携事業を検討・実施する。
	関係市町	高等教育機関等と関係市町間（広域圏含む）で連携事業を検討・実施する。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	総事業費
	芦別市						
	赤平市						
國學院大學北海道短期大学部連携事業	滝川市	1,000	1,500	1,500	1,500	1,500	7,000
	砂川市						
	歌志内市						
	奈井江町						
	上砂川町						
	浦臼町						
	新十津川町						
	雨竜町						
	他						
	合計		1,000	1,500	1,500	1,500	

H27年度の主な取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ講座を実施（12講座 121名参加） ・ 國學院大學北海道短期大学部による出張講座等の対象を中空知圏域の市町（地域）に拡大 ・ 社会人入学者奨学制度、長期履修制度（3・4年コース）の実施
H28年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ講座を実施（15講座） ・ 國學院大學北海道短期大学部による出前講座（講師派遣）のPRを実施 ・ 社会人入学者奨学制度、長期履修制度（3・4年コース）の実施
H29年度以降の取組予定	同上
事業における課題等	広域的な参加者の拡大